

運輸部



住民参加の体験学習

そのため、平成十五年度から、先進的な観光交流空間づくりをハードとソフトの事業、施策により総合的、重点的に支援する「観光交流空間づくりモデル事業」を実施しています。

平成十六年度については、申請のあった地域の中から国土交通省ホームページ上で行ったCSS調査（顧客満足度調査）の結果も参考にしながら、全国で十六地域が選定され、沖縄からは宮古広域連携観光交流推進協議会が選定されました。

国土交通省は、観光振興を核として国内外から交流人口を拡大する地域づくりが重要となっていることから、街並みや暮らしぶり、地域との交流などの広がりを持ち、旅行者にとって魅力ある観光交流空間づくりを推進しています。

「観光交流空間づくりモデル事業」に「宮古広域」が選定されました。



前浜ビーチ

- 宮古地域の取り組み事例**
- 目標現状入込客数三十六万人
目標五十万人（平成二十年）
 - 地域の主な取り組み
 - 宮古島固有の各種交流・体験プログラム事業の展開
 - 雪国の農村等との健康交流事業の実施
 - 宮古島「バスポート」の発行による交通機関、宿泊施設、飲料・飲食店への島内観光割引券（地域通貨）の実施
 - 住民参加による景観環境条例の策定と施行による琉球固有の建造物や自然の保全
 - 音声自動翻訳機（英・中・日）携帯型端末の貸出
- 主な国土交通省の支援**
- 宮古と雪国との交流及び長期保養滞在プログラム策定への支援
 - 全島統一（三カ国語）案内標識の設置への補助



海中観光

観光交流空間モデル事業とは

地域がもつ様々な資源を最大限に活用しながら、複数の市町村にまたがる地域で、観光を軸とした良好な地域づくりと観光交流の拡大を目指す取り組み（「観光交流空間づくり」）のモデルとなる事業です。

関連リンク

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanko/top.htm>